

鈴木商店調査書「株式会社鳥羽造船所」（原書 P74～78）

三重県志摩郡鳥羽町

設立 大正五年十二月 廿一日

目的 船舶製造並に諸機械及電気事業

資本金 五拾萬円也 払込額 拾貳萬五千円也

重役の氏名

取締役 辻 湊 取締役 高橋半助

同 松尾忠二郎 同 谷本貞幸

監査役 松島 誠

会社の沿革 現況

同社は元名古屋市所在株式会社中央鉄工所（原文ママ。正しくは“四日市鉄工所および中央鉄工所”）の業務の一部たりしを昨五年十二月、鈴木商店に買収経営せるものなり。

而して、中央鉄工所は名古屋市の有力家、齋藤恒三、井上茂兵衛、伊藤栄治郎及三重県大里峻三郎、伊藤傳七諸氏に依り大正元年十一月、資本金五拾萬円（払込額 廿萬円）を以て設立せられ、諸機械の製造、仲次、販売、船舶製造、修理、電気、瓦斯の供給、土木建築請負等を目的とし、名古屋市に本店を、四日市及鳥羽の両所に支店を置き、鳥羽支店にては造船所及電気事業を経営し来り、業績遅々として振はず経営上頗る苦心を為し、止む無く鳥羽造船所及電気事業を相当価格を以て売渡さん意向なりしが、遂に昨五年十二月、鈴木商店へ拾九萬円を以て譲渡したるものなり。

同店は更に八萬円内外を投じて設備を拡張し、同所が地理的位置に於て横須賀、神戸の中央に位し、且伊勢湾が太平洋方面に於ける中部海軍策源地として好適の素質を備へ居る関係上将来は大々的設備を設し、以て有力なる造船所たらしめん計画なるが如し。

六年上半期は鈴木商店経営後に於ける第一回の決算にして、本期間修繕船の入渠せしもの七艘、此噸数千七百拾貳噸余に過ぎず。

蓋し、創立日尚少く、加之本期の半は諸般の準備に時日を費やし、工程日数僅々三ヶ月に過ぎざりしも、造船界は大活躍の高潮期なるを以て予期以上の好成績挙げ、純益拾參萬貳千余円を計上せり。以て、前途の業績を推知するに難からざるなり。

六年度第一回決算左の通<sup>とおり</sup>

資 産 之 部		負 債 之 部	
未払込資本金	375,000.00	資本金	500,000.00
土地	94,217.50	借入金	112,500.00
家屋及構築物	19,417.37	支払手形	98,988.54
機械	35,721.06	未払金	6,763.00
船渠	15,587.78	社員職工積立金	482.01
船舶	4,214.30	仮受金	150,400.00
什器	1,979.26	播磨造船所	84,916.21
工具	24,261.29	当期純益金	132,140.98
線路	2,973.24		
製修勘定	170,993.42		
貯蔵品	149,500.66		
未収金	9,315.46		
有価証券	200.00		
仮払金	177,349.03		
銀行預金	4,936.19		
振替貯金	85.90		
現金	438.28		
合計金	1,086,190.74	合計金	1,086,190.74

(単位：円)

利益金処分

金 拾参萬貳千百四拾円九拾八銭

内訳

金 壹萬参千五百円也

同 四萬円也

同 貳千五百円也

積立金

諸機械減価償却積立金

役員賞与金

同	壹萬貳千五百円也	利益配当金（二割）
同	六萬參千六百四拾円九拾八錢	後期繰越金